

令和4年11月10日  
経済産業部商業課

## せたがや Pay を活用した消費喚起策の再追加について

### 1 趣旨

区は長期化するコロナ禍や物価高騰を踏まえ、事業者の経営を支援し区民生活を支える観点から、せたがや Pay を活用した消費喚起策（30%ポイント還元）を実施している。

10月28日に総務省統計局が発表した直近10月分の東京都区部消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、前年同月比で+3.4%の103.2を示しており消費税増税の影響を除けば約40年ぶりの上昇幅を記録している。今般の物価高騰の要因は国際情勢の変化に起因した燃料・資源価格の高騰、日米の政策金利差を背景とした円安の進行であることから、早期の安定は見込まれず、年末にかけて引き続き物価上昇が続くと考えられる。

以上を背景として国は、令和4年9月に地方創生臨時交付金「重点交付金」を創設し、推奨事業として「消費下支え等を通じた生活者支援」等を提示している。本交付金や都補助金を活用し、物価高騰による生活者や事業者へのダメージを引き続き緩和するため消費喚起策を継続する。

### 2 事業概要

物価高騰対策として引き続き都「生活応援事業」を活用したせたがや Pay による消費喚起策を実施する。一方、日銀によるとエネルギーや食料品、耐久財などの価格上昇は年明け以降押し上げ効果が減少すると見込まれており、区の消費喚起策も年明け以降は物価高騰対策の観点を縮小してポイント還元率を令和4年度当初の5%へと戻し、コロナ禍からの事業復活を目指す区内産業を支援するための区内経済循環誘導策へと再度移行する。

#### （1）都補助金「生活応援事業」を活用した消費喚起策（30%ポイント還元）の拡充

名称	ポイント還元額	内訳
せたがや全力応援祭 後期 (11月1日～予算上限に達するまで)	980,000 千円	既存予算残額※ 200,000 千円 第5次補正予算見積額 780,000 千円

※前期（7月22日～10月7日）で約7億円（総予算の約78%）相当をポイント還元

#### （2）せたがや Pay を活用した追加消費喚起策（5%～10%ポイント還元）の実施

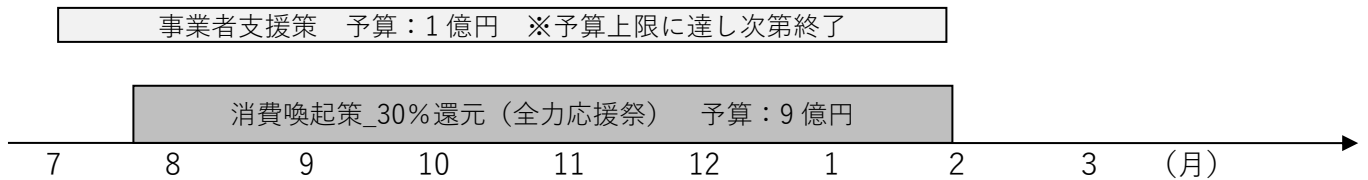
名称	ポイント還元額	内訳
つかって10%還元キャンペーン（仮称） (令和5年2月)	80,000 千円	第5次補正予算見積額 80,000 千円

- ・ 内容 : 区内中小個店の決済額の10%還元
- ・ 1人あたり付与上限: 2,000ポイント（決済額20,000円）※6か月後の末日まで有効

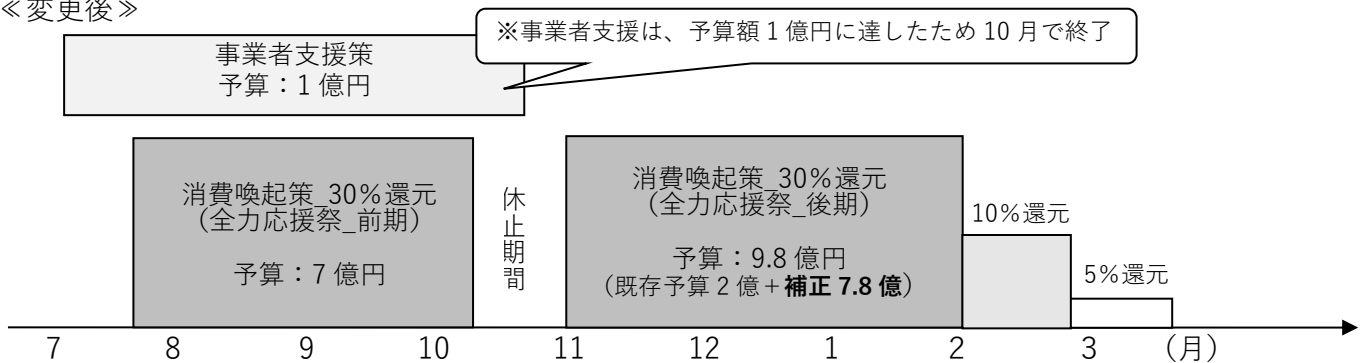
名称	ポイント還元額	内訳
つかって5%還元キャンペーン（仮称） （令和5年3月）	45,000千円	第5次補正予算見積額 45,000千円

- ・内容：区内中小個店の決済額の5%還元
- ・1人あたり付与上限：1,000ポイント（決済額20,000円）※6か月後の末日まで有効

《変更前》



《変更後》



※なお、事業者支援策（事業者へ5%還元）は、10月に予算上限に達したため終了した。

《事業者支援策（参考）》

- ・内容：せたがや Pay 決済額の5%（1店舗あたり20万円上限）を事業者に還元
- ・予算額：1億円
- ・給付算定期間：令和4年7月～10月（予算上限に達したため終了）令和5年1月以降に給付を予定
- ・対象：せたがや Pay を利用する区内中小個店（中小企業基本法上の中小企業）

### 3 第5次補正予算案（第4回定例会補正予算）

948,000千円（特定財源：都補助金「生活応援事業」）

《内訳》

- ①事業費（ポイント還元原資） 905,000千円
- うち 30%還元事業継続事業費 780,000千円
  - 10%還元事業費 80,000千円
  - 5%還元事業費 45,000千円
- （特定財源：都補助金「生活応援事業」 200,000千円 ※都余剰予算の再分配見込額）
- ②事務費（チャージ手数料） 43,000千円（チャージ手数料）

※地方創生臨時交付金を特定財源として活用する。

※30%還元事業（全力応援祭 後期キャンペーン）については、既存予算を活用して先行実施を行い、第4回定例会において補正予算を計上する。

#### 4 スケジュール（予定）

令和4年10月8日 「せたがや全力応援祭（還元30%）」前半 終了

11月1日 「せたがや全力応援祭（還元30%）」後半 開始

予算上限に達し次第、後半終了

令和5年2月 「つかって10%還元キャンペーン（仮称）」実施

3月 「つかって5%還元キャンペーン（仮称）」実施